

木と共に生きて

細田安治

最終回

家族

私の『木と共に生きて』は最終回となった。拙い手記を讀んでくださった読者の皆様方、関係者の方々から感謝を申し上げたに存じます。私を支えてくれた会社の人々、仕事で世話になった関係の方々、地域にいらっしゃる皆様、そして私を育ててくれた祖父美三郎と祖母かつ、そして創業者の祖父と二人の母親。さらに長年連れ添ってくれた妻晴子、それぞれに深く感謝している。

1959年(昭和34年)、晴子は山形県米沢市の絹織物工場に三女だが、21歳で私と結婚した。仲人は戦時中、細田三郎製材所の重役で米沢駐在所の現地責任者の伊藤倉蔵氏だった。祖母かつ、母晴子、妹愛子、弟勝治達の疎開先を世話してくれた恩人でもある。晴子は私と連れ添って52年、我慢強く尽くしてくれてきた。そして子供を育て、今は孫たちに「おばあちゃん」と慕われ幸せそうだ。

役員として、細田勝治社長を支え会社の中心的役割を担っている。三女麻里は、高橋実と結婚し、のぞみと三人家族だ。実は高橋電機の後継者だ。私たちが夫婦を加え総勢19人になる。

【先祖様】
私は昨年、喜寿を迎えた。細田發祥の地、遠州賀茂で家内はじめ子供、孫達を祝ってくれた。こんな嬉しいことはない。ご先祖様に私と兄弟親戚の会社重役の方々、今は会社重役の方々、社にいらつしやらない方々、ご先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。

【先祖様】
私は昨年、喜寿を迎えた。細田發祥の地、遠州賀茂で家内はじめ子供、孫達を祝ってくれた。こんな嬉しいことはない。ご先祖様に私と兄弟親戚の会社重役の方々、今は会社重役の方々、社にいらつしやらない方々、ご先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。

私の生きざま

【先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。】
現在の社員の方々、言葉で言い表せないほどの大きな協力力を頂きました。深く感謝申し上げます。

【祖父細田美三郎】
祖父細田美三郎が77歳喜寿の自賀詩と同じ心境だ。一部を紹介すると「無徳五福無得一尊善口兼養志子女家門満口見二十二孫甲添四會孫」とある。釈文すれば「徳は無けれど五福をそなえ、福なけれど一尊を得たり、子女家門に満つ、すで見ると十二人の孫甲に添えること四會孫がいる私の誇りだ」となる。祖父は喜寿を迎えた時、「22人の孫と四人の會

【先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。】
現在の社員の方々、言葉で言い表せないほどの大きな協力力を頂きました。深く感謝申し上げます。

【祖父細田美三郎】
祖父細田美三郎が77歳喜寿の自賀詩と同じ心境だ。一部を紹介すると「無徳五福無得一尊善口兼養志子女家門満口見二十二孫甲添四會孫」とある。釈文すれば「徳は無けれど五福をそなえ、福なけれど一尊を得たり、子女家門に満つ、すで見ると十二人の孫甲に添えること四會孫がいる私の誇りだ」となる。祖父は喜寿を迎えた時、「22人の孫と四人の會

【先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。】
現在の社員の方々、言葉で言い表せないほどの大きな協力力を頂きました。深く感謝申し上げます。

【祖父細田美三郎】
祖父細田美三郎が77歳喜寿の自賀詩と同じ心境だ。一部を紹介すると「無徳五福無得一尊善口兼養志子女家門満口見二十二孫甲添四會孫」とある。釈文すれば「徳は無けれど五福をそなえ、福なけれど一尊を得たり、子女家門に満つ、すで見ると十二人の孫甲に添えること四會孫がいる私の誇りだ」となる。祖父は喜寿を迎えた時、「22人の孫と四人の會



気賀での集合写真。ご先祖、祖祖父名倉三郎の墓前にて。残念ながら、生子和直明はいない

【先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。】
現在の社員の方々、言葉で言い表せないほどの大きな協力力を頂きました。深く感謝申し上げます。

【祖父細田美三郎】
祖父細田美三郎が77歳喜寿の自賀詩と同じ心境だ。一部を紹介すると「無徳五福無得一尊善口兼養志子女家門満口見二十二孫甲添四會孫」とある。釈文すれば「徳は無けれど五福をそなえ、福なけれど一尊を得たり、子女家門に満つ、すで見ると十二人の孫甲に添えること四會孫がいる私の誇りだ」となる。祖父は喜寿を迎えた時、「22人の孫と四人の會

【先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。】
現在の社員の方々、言葉で言い表せないほどの大きな協力力を頂きました。深く感謝申し上げます。

【祖父細田美三郎】
祖父細田美三郎が77歳喜寿の自賀詩と同じ心境だ。一部を紹介すると「無徳五福無得一尊善口兼養志子女家門満口見二十二孫甲添四會孫」とある。釈文すれば「徳は無けれど五福をそなえ、福なけれど一尊を得たり、子女家門に満つ、すで見ると十二人の孫甲に添えること四會孫がいる私の誇りだ」となる。祖父は喜寿を迎えた時、「22人の孫と四人の會



田島木材はイギルマ大陸、ワニノお楽しみに。(編集部)

【先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。】
現在の社員の方々、言葉で言い表せないほどの大きな協力力を頂きました。深く感謝申し上げます。

【祖父細田美三郎】
祖父細田美三郎が77歳喜寿の自賀詩と同じ心境だ。一部を紹介すると「無徳五福無得一尊善口兼養志子女家門満口見二十二孫甲添四會孫」とある。釈文すれば「徳は無けれど五福をそなえ、福なけれど一尊を得たり、子女家門に満つ、すで見ると十二人の孫甲に添えること四會孫がいる私の誇りだ」となる。祖父は喜寿を迎えた時、「22人の孫と四人の會

【先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。】
現在の社員の方々、言葉で言い表せないほどの大きな協力力を頂きました。深く感謝申し上げます。

【祖父細田美三郎】
祖父細田美三郎が77歳喜寿の自賀詩と同じ心境だ。一部を紹介すると「無徳五福無得一尊善口兼養志子女家門満口見二十二孫甲添四會孫」とある。釈文すれば「徳は無けれど五福をそなえ、福なけれど一尊を得たり、子女家門に満つ、すで見ると十二人の孫甲に添えること四會孫がいる私の誇りだ」となる。祖父は喜寿を迎えた時、「22人の孫と四人の會

【先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。】
現在の社員の方々、言葉で言い表せないほどの大きな協力力を頂きました。深く感謝申し上げます。

【祖父細田美三郎】
祖父細田美三郎が77歳喜寿の自賀詩と同じ心境だ。一部を紹介すると「無徳五福無得一尊善口兼養志子女家門満口見二十二孫甲添四會孫」とある。釈文すれば「徳は無けれど五福をそなえ、福なけれど一尊を得たり、子女家門に満つ、すで見ると十二人の孫甲に添えること四會孫がいる私の誇りだ」となる。祖父は喜寿を迎えた時、「22人の孫と四人の會

【先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。】
現在の社員の方々、言葉で言い表せないほどの大きな協力力を頂きました。深く感謝申し上げます。

【祖父細田美三郎】
祖父細田美三郎が77歳喜寿の自賀詩と同じ心境だ。一部を紹介すると「無徳五福無得一尊善口兼養志子女家門満口見二十二孫甲添四會孫」とある。釈文すれば「徳は無けれど五福をそなえ、福なけれど一尊を得たり、子女家門に満つ、すで見ると十二人の孫甲に添えること四會孫がいる私の誇りだ」となる。祖父は喜寿を迎えた時、「22人の孫と四人の會

【先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。】
現在の社員の方々、言葉で言い表せないほどの大きな協力力を頂きました。深く感謝申し上げます。

【祖父細田美三郎】
祖父細田美三郎が77歳喜寿の自賀詩と同じ心境だ。一部を紹介すると「無徳五福無得一尊善口兼養志子女家門満口見二十二孫甲添四會孫」とある。釈文すれば「徳は無けれど五福をそなえ、福なけれど一尊を得たり、子女家門に満つ、すで見ると十二人の孫甲に添えること四會孫がいる私の誇りだ」となる。祖父は喜寿を迎えた時、「22人の孫と四人の會

【先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。】
現在の社員の方々、言葉で言い表せないほどの大きな協力力を頂きました。深く感謝申し上げます。

【祖父細田美三郎】
祖父細田美三郎が77歳喜寿の自賀詩と同じ心境だ。一部を紹介すると「無徳五福無得一尊善口兼養志子女家門満口見二十二孫甲添四會孫」とある。釈文すれば「徳は無けれど五福をそなえ、福なけれど一尊を得たり、子女家門に満つ、すで見ると十二人の孫甲に添えること四會孫がいる私の誇りだ」となる。祖父は喜寿を迎えた時、「22人の孫と四人の會

【先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。】
現在の社員の方々、言葉で言い表せないほどの大きな協力力を頂きました。深く感謝申し上げます。

【祖父細田美三郎】
祖父細田美三郎が77歳喜寿の自賀詩と同じ心境だ。一部を紹介すると「無徳五福無得一尊善口兼養志子女家門満口見二十二孫甲添四會孫」とある。釈文すれば「徳は無けれど五福をそなえ、福なけれど一尊を得たり、子女家門に満つ、すで見ると十二人の孫甲に添えること四會孫がいる私の誇りだ」となる。祖父は喜寿を迎えた時、「22人の孫と四人の會

【先祖様のお蔭で深く感謝申し上げます。】
現在の社員の方々、言葉で言い表せないほどの大きな協力力を頂きました。深く感謝申し上げます。

【祖父細田美三郎】
祖父細田美三郎が77歳喜寿の自賀詩と同じ心境だ。一部を紹介すると「無徳五福無得一尊善口兼養志子女家門満口見二十二孫甲添四會孫」とある。釈文すれば「徳は無けれど五福をそなえ、福なけれど一尊を得たり、子女家門に満つ、すで見ると十二人の孫甲に添えること四會孫がいる私の誇りだ」となる。祖父は喜寿を迎えた時、「22人の孫と四人の會